

顔の筋肉に注目

かお きんにく ちゅうもく

米原 万里

よねはら まり

謹厳実直タイプのはずの課長の顔が日本語から英語に切り替わったとたんに気の置けないヤンキー風になってしまったり。かと思うと、いつもミーハーな彼女がドイツ語をしゃべり出すやとでも哲学的で重みのある顔になったり。あなたの身近な人が得意な外国語を操るときに、その顔の表情や立ち居振る舞いまでが、何だか外国風になっているのに気付いて戸惑ったことないですか。

「チェツ、キザな奴」

なんてやっかみ半分にしたことあるでしょう。

それは、目の錯覚なんかじゃない。母国語とは異なる外国語の音や音の組み合わせを発声するには、母国語では使ったこともなかった、その外国語特有の顔やお腹の筋肉を動かすのですから、当然といえば当然。わたしの知人の日本人の歌い手さんなど、

「イタリアやドイツ歌曲を久しぶりに歌ったら翌日アチコチの筋肉が痛かった」

なんて言ってるほど。ちなみに彼女の発音はイタリア人やドイツ人かと聞きまごうほど見事です。

教科書に記された発音のコツに従って、唇や口の形を整えただけで、必ずしも、日本人のような発音になりません。文法もボキャブラリーも非の打ち所ないほ

ど正確無比なのに、どうも日本語らしくない、と思われてしまう人には、このタイプが多いのです。日本語の発声法には、ヨーロッパ系の言語、あるいは中国語や韓国語の発声法に比べても根本的な違いがあるからです。だからこそ、実際に出会う日本人や、テレビや映画で見る生きた日本人の顔の表情や立ち居振る舞いを大いになぞって欲しいのです。恥ずかしがらないで。毎日本人の真似をして発声練習にいそしむ赤ちゃんのような無垢で素直な心持ちになって。

日本人同士の会話を初めて見たイタリア人が、「日本人って、口の先っぽの方だけでボンボンしゃべるのね」

と感想を漏らしたことがあります。これは、いみじくも日本人の発声法の特徴を言い当てています。逆にいうと、多くの他の言語の発声法は、もう少し口の奥の方から声を出しています。日本人がそういう発声法をするのは、歌を歌うときぐらい。圧倒的多数の場合には、ほとんど顔の筋肉を動かさずにボンボンと話す。

この傾向は、最近とくに著しくなっているような気がします。というのも、原節子や岸恵子など昔の映画女優の明快な発声法に比べると、若い人に人気のある広末涼子や深田恭子などのタレントさんたちの話し方が、揃いも揃って口先ボンボンだからです。

(作家、元ロシア語通訳)

さっか もと ごつやぐ

■ 表紙エッセイ 顔の筋肉に注目 米原万里（作家、元ロシア語通訳）	
■ 海外日本語教育レポート 第5回 3 インドのIT産業と日本語教育 国際交流基金ニューデリー事務所 山口 明（日本語教育アドバイザー）／保科 輝之（職員）	
■ 授業に役立つホームページ 第6回 7 ECIS インターネット放送局	
■ 日本語・日本語教育を研究する 第22回 8 流行語と日本語教育 小矢野 哲夫（大阪外国語大学教授）	
■ 写真で見る日本人の生活 初・中級 10 「おつかれさまでした」……はたらく	
■ 新聞・雑誌から見る現代日本 第15回 中・上級 12 イヌコレ、何コレ？ わんこ大好き私たち	
■ 本ばこ（新刊教材・図書紹介） 15	
■ 授業のヒント 18 漢字の導入（オリエンテーション）	
■ 文法をやさしく 第6回 20 Vている	
■ 『日本語教育通信』2003年度読者アンケート集計結果 22	

※ は、読者が教えている生徒のレベルを示します。

※本誌46号でご紹介した「日本語教育フェロシップ」の続編は、次号に掲載いたします。あしからずご了承ください。

※本誌全体で、ルビが文字の下に付いているのは、紙や物差しなどでルビを隠して、漢字の読みの練習ができるようにするためです。

編集部から

先日、大阪を本拠地とするプロ野球チームの阪神タイガースが、18年ぶりにリーグ優勝を果たしました。翌朝のニュース番組で、今号の巻頭エッセイを書いてくださった米原万里さんがコメンテーターとして出演されていて、「阪神優勝による経済効果は6,355億円」というニュースに対し、「いつも何かあると経済効果何百億円と言われるけれど、本当にそれだけの効果があったか、後に検証したというのを今まで一度も聞いたことがない。単にマスコミがあおっているだけなのでは…」という鋭い指摘をされていました。

実際の社会現象として、優勝が決まった翌朝から、オーナーである阪神電鉄グループ内外の様々な業種（公認されているだけで8,000種とか）で優勝セールが始まり、大阪・梅田の阪神百貨店だけでも初日に6万人が買い物に訪れたそうです。こんなことで、構造不況といわれる日本経済が良くなるとはにわかには信じ難いのですが、かなりの方の財布のヒモがゆるんだのは確かなようです。

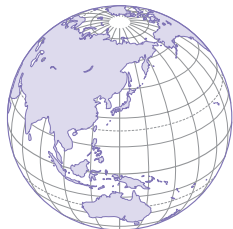
P.21 「文法をやさしく」のタイトルの答え (b)、(d)

他にも、タイガース優勝関連の様々なニュースがマスコミを賑わせています。それらの報道から総じて感じるのは、他のチームが優勝したのでは得られないであろうある種の「熱気」です。それはおそらく、「ダメ虎」として久しくリーグの底辺をさまよっていたチームが、様々な改革の末に優勝したという事実と、不景気から脱出する日本というイメージとが重なり、阪神ファンだけでなく、野球に関心のない人々の心にも響くものがあるからなのかもしれません。海外でも阪神ファンが歓喜のあまり川などに飛び込んでいるそうですが（これは、スポーツの試合後などに、熱狂した人々が、大阪の繁華街を流れる道頓堀川に飛び込むことに由来しています。今回のタイガース優勝の晩には、5,400人が飛び込んだと報道されています）、読者の皆さんが、周囲の方々に背景説明をしてくださることを期待しつつ、『日本語教育通信』最新号をお送りいたします。(tt)

表紙エッセイストプロフィール

米原 万里（よねはら まり）

子供のころの一時期をブラハで過ごす。83年ごろから同時通訳を始め、91年「日本女性放送者懇談会賞」受賞。現在ロシア語通訳協会会長、日本ペンクラブ常務理事。著書に「不実な美女か貞淑な醜女か」（読売文学賞）、「魔女の1ターズ」（第13回講談社エッセイ賞）、「嘘つきアーニャの真っ赤な真実」（大宅壮一ノンフィクション賞）、他多数。



海外日本語教育レポート

第5回



国際交流基金ニューデリー事務所 日本語教育アドバイザー 山口 明 / 職員 保科輝之

このコーナーでは、海外の日本語教育について広く情報を交換したり、お互いの交流をはかるために、各地域の新しい試みやコース運営などについて、関係者の方々に具体的に紹介していただきます。

インドのIT産業と日本語教育

<はじめに>

世界中に、日本語教育のさかんな国・地域はいくつもあり、それらの国・地域に比べればインドの日本語教育及び日本語学習者は、影の薄い存在に映るかもしれない。しかしながら、インド国内から見れば、昨今のインドIT産業の成長に伴い、現在、インドの日本語教育は、まさに急伸中であるといえる。日本語講座や学習者の数は爆発的な勢いで増えており、増加の度合いはあまりに急激であるため、基金ニューデリー事務所においてもその全貌をつかみきれていない状況にあるが、本稿では、そんなインドの日本語教育事情を、とくにIT産業と絡めて紹介する。

<発展を続けるインドのIT産業>

世界的なIT不況と言われているにもかかわらず、インドのIT産業は2けた成長を続けている。インドのソフトウェア民間団体NASSCOMの発表によれば2002年度のソフトウェア・サービス輸出額は、前年度比26.3%増の95億ドルとなっている。特にバックオフィスや、コールセンター（電話業務代行）などのIT関連サービスの伸びが大きく59.2%増となっている。この分野は、同様に比率が伸びているオフショアサービス（現地に出向かず、インドでサービスを請け負う）と共に今後もインドのIT産業の成長を引っ張って行くだろうと言われている。（JETRO通商弘報2003年6月11日）

日本との関係で見ると、2000年度のソフトウェア対日輸出額は全体のわずか3.6%に過ぎず、2001年度はやや減少し全体の2.5%となっているものの、日本には約60社のインドIT企業が進出し、既に多くのインド人エンジニアやビジネスパーソンが活動している。主要な輸出相手国であった米国の不況により、ヨーロッパや日本を含むアジア市場に対する期待が高まり、それは人材不足の日本IT企業のニーズとも一致したのである。しかしながら、取引が増加するにつれて、言語とビジネス習慣の違いが障害として浮かび上がってきている（資料提供JETROニューデリー事務所）。

日本進出のために多くのIT企業で社内研修が始まり、インド商工省も2001年9月にIT技術者とITを学ぶ学生を対象に日本語学習奨励金制度を開始した。IT教育機関や語学学校で日本語コース開設が相次ぎ、2002年の日本語能力試験の受験者数は前年の1.5倍となった。IT企業が集中している南インドのバンガロール、古くから日本語教育の中心であった西インドのプネーで始まったこの現象は、首都ニューデリー、東インドのコルカタも含めて、今や全国的なものになってきている。

<IT関連の学習者を対象とした日本語教育機関の紹介>

市中の語学学校、各地にある印日協会やAOTS同窓会などの非営利団体が行なっている日本語講座、バンガロール大学やプネー大学のような専攻科ではない大学の日本語コースでも多くのITエンジニアと、ITを専攻している学生が日本語を学んでいるが、本稿では特にIT関連の学習者を対象とした日本語教育機関を取り上げる。まずこの学習者急増の中心となっている①IT企業の社内研修、②IT教育機関の日本語コース、そして、③民間日本語学校の中から特色ある団体を2つ紹介する。

①企業内研修

IT企業が社員を対象に行なっている日本語研修では、専属の教師が常時行なうこともあれば、単発的に外部に研修を依頼する場合もある。大手企業から新規の中小企業まで規模は様々だが、なかでも2002～03年ソフトウェア輸出額第一位の大企業TATA CONSULTANCY SERVICES（以下TCS社、<http://www.tcs.com/>）について紹介する。

TCS社では日本語だけではなく、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語などの外国語研修を1990年からインド各地や海外の拠点で行なってきた。日本語は、専属の日本語教師3名と外部委託の教師による日本語研修で、これまでに能力試験とJETRO試験の1・2級で15名以上の合格者を、3・4級では40名以上の合格者を出している。今年1月からは、インド南端の都市トリバンDRAMにある研修センターで外国語研修プログラムを開始し、これまでに約336名が日本語入門コース（30時間）の研修を受け、現在も112名が学んでいる。使用教材としては、『新日本語の基礎（10課まで）』（海外技術者研修協会編）『YOOKOSO!』（當作靖彦著）の他、IT基礎専門語彙集、対象分野別基礎専門語彙集、そして、食べ物・生活習慣・ビジネスマナーの違いについて日本での経験に基づいて作成された教材など、オリジナル教材を多数使っている。この入門コース終了後も継続して、インド主要都市において『新日本語の基礎』（海外技術者研修協会編）、『Japanese for Busy People』（国際日本語普及協会編）などを教材に、まず能力試験4級、さらに3・2級を目標に研修を実施している。

他にTCS社のような大手ではWIPRO社、INFOSYS社、POLARIS社が、そして、中小規模のIT企業でも日本語研修を実施しているところは多く、日本で雇用された専属のネイティブ教師が教えているところもある。外部に研修を委託する場合、バンガロールではインドにおける日本語教育の草分け的存在デンドゥルカル氏が率いるCentre of Japanese Studies、ニューデリーでは、1997年からITだけでなく自動車産業でも研修を担当してきたAOTSインド同窓会連合、本稿③で取り上げるNihongo Center、などが引き受けている。

このタイプの研修では、学習目的がはっきりしており、企業が社員教育として実施するので、高い効率性が求められ、限られた時間で確実な成果をあげなければならないという難しさがある。

②IT教育機関の日本語コース

東インドのオリッサ州の州都ブバネシュワルにあるOrissa Computer Application Centre（以下OCAC、<http://www.utkalernet.in/>）〈写真1〉は、州立のITトレーニングセンターで、1993年に中央政府の要請に応じて、コンピュータ技術修士課程の学生を対象に日本語コースを開始した。このコースのこ

れまでの学習者は230名で、現在もこのOCACや周辺の機
関でITを専門とする学生やITエンジニア30名が日本語を
学んでいる。学習時間は2年で約500時間で、基礎コース
1・2では『新日本語の基礎』『新日本語の中級』（2冊と
も、海外技術者研修協会編）を使用、約3か月で能力試験
4級を、翌年に3級に合格を目標とする。基礎コース終了
後はコンピュータービジネスジャパニーズコース（CBJ）
と呼ばれる課程があり、『わかるビジネス日本語』（島田
ぐみ著）『商談のための日本語』（米田隆介著）などを使用
し、JETRO試験320点取得を目指す。CBJでは能力試験対策、理数系、技術系の語彙学習もあり、最終課
題として、日本語環境で仕事をするのに慣れ、納期厳守など日本のビジネス習慣を学ぶ目的で日本語教育
用ソフトの制作を行なう。専攻のITコースと平行しての日本語学習なので、かなりハードな時間割となっ
ている。



〈写真1〉 Orissa Computer Application Centre

中庭で、先生方とCBJコースの学生たち
なかにわ せんせいがた がくせい

前述の商工省が奨励金の取得条件としていることもあり、能力試験3級、JETRO試験320点を目標レベ
ルにしているところが多いが、企業内研修のように、社員が日本派遣を前提に学習するのではなく、IT
と日本語力を武器にIT企業への就職を目指すので、最近では能力試験3級程度では有利だとは言えなくなっ
てきており、2級レベル以上の力が必要となってきているようだ。

他にも多くのIT教育機関で日本語講座があり、最高峰の理科系大学と位置付けられるインド工科大学
ニューデリーキャンパスでも基礎日本語コースが今年度より始められている。

また、日本企業からの積極的な取り組みとしてアイポック社 (<http://www.i-poc.com>)がある。大垣市に
本社を置く日本のIT企業で、インド人ITエンジニアの日本企業への派遣とオフショア開発を目的として
2001年10月に発足、ブネーにITと日本語教育を行なう学校を設立した。『AJALT』26号（国際日本語普及
協会発行）に紹介記事があるので、詳細は省略するが、ソフト開発でしばしばトラブルの原因となる仕様
書（日本語でソフトの内容が書かれている）を授業に取り入れている点などは他では見られない特徴であ
る。

③その他 — 特色ある民間日本語教育機関 —

ここでは、従来からある日本語教育機関で、IT関連の日本語コースもある団体の中から、特色のある
団体を2つ紹介したい。

はじめに紹介するNihongo Center (<http://www.nihongocenterindia.com>) 〈写真2〉は、1996年から
AOTSニューデリー事務所で日本語教育に携わってきた名須川典子氏によってニューデリーに昨年11月開
設された。現在の学習者数は100名、教師は9名でそのうち7名がネイティブである。基礎、中級、中上
級、上級と計4年間のコースで、それぞれのコースの後半は能力試験4、3、2、1級の準備講座になっ
ている。これらのコースは特にIT関係の学習者に対象を限定したものではないが、能力試験の結果は、
IT関係での就職の際にもポイントが高くなるとみなされている。

Nihongo Centerの特色は、企業内研修、翻訳、通訳などを引き受け、ITに限らず、広くインド産業界における日本語の需要に対応し、様々な企業との結びつきや、企業から入手した情報を、Nihongo Centerの学生の就職に役立てようとしている点にある。また、インドにおける日本語普及には、年少者への導入が重要との観点から、初中等教育レベルの教師の育成も目指している。さらに、将来は静岡の国際こば学院と提携を結び、日本留学の便宜を図る予定で、教師の交換による研修、ヒンディー語の学習を希望する日本の学生の受け入れなども計画している。



〈写真2〉 Nihongo Center
3級試験準備クラスの授業風景

もう一つの教育機関は、高い日本語能力を持ったIT技術者を育てるため、中等教育までも視野に入れて教育を行なおうとしているJapanese Infoway (<http://www.japaneseinfoway.com/>)〈写真3〉を取り上げたい。ここは、インドの日本語教育関係者が、IT関連の学習者に特化して開始した日本語教育機関である。会長はネルー大学名誉教授で全インド日本語教師会会長のヴァルマ氏、教師陣も当地日本語教育界のベテランが名を連ねており、今後発展が期待される団体である。この4月に開始したばかりで、現在はま



〈写真3〉 Japanese Infoway
2名の学習者と日本語教師

だIT技術者として働いている3名が土曜と日曜に集中的に日本語を学習しているだけだが、将来はインターネットを使ったオンライン学習システムを開発し、広く学習者を集める予定だ。さらに、ここが他の日本語学校と大きく異なるのは、中等教育にも関わろうとしている点である。現在、4年間のカリキュラムとオリジナルテキストを準備中で、英語ではなく、各地方の言語を媒介語として日本語を教え、IT関連の2年間のカリキュラムを含めた6年一貫教育で、日本語能力を身に付けたITエンジニアを育成しようとしている。

ニューデリーでは、すでに一部の初中等教育機関が日本語を取り入れているが、進級試験の正式科目としての承認を受けていないこともあって、数はまだ少ない。しかしながら、ITエンジニアはインドの子供達にとって憧れの職種の一つであり、日本語学習がITエンジニアへの道とビジネスチャンスに結びつくものであれば、中・高一貫の「IT日本語教育システム」は、広く普及するかもしれない。



〈おわりに〉

インドのIT産業の成長に伴い、ブームともいえる勢いで日本語学習者が増えているが、もしIT産業が不況に陥れば、日本語教育の火も消えていくのだろうか。

日本はITエンジニアの人材不足で、海外のITエンジニアを活用する必要がある。他国との競争は激しいが、高度な技術レベルにあるインド人エンジニアの評価は高いのだという。日印双方にとって好ましいこの関係が長く続くことを願わずにはられない。

<http://opal.ecis.nagoya-u.ac.jp/~jems/hosokyoku/hosokyoku.html>

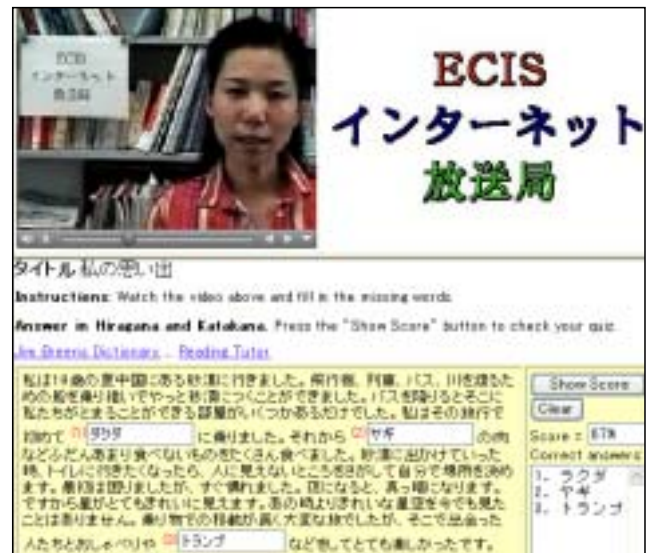
インターネットの便利な点の一つは、海外の出来事がすぐにわかることです。しかし日本のテレビ局のwebサイトで見られるニュース映像のほとんどは、ことばが難しい、音楽が入っていることばが聞き取りにくい、スクリプトがない、昔のニュースがすぐなくなるなど、聴解日本語教材としては不便です。そこで名古屋大学留学生センターの「インターネット放送局」を紹介します。トップページで「Go to programmes」をクリックすると、全部のニュースのタイトルが見られます。ここでは毎週1回、初級・中級・上級の3つの新しいニュースがアップされます。内容はそのとき日本で話題になっている事件や、年中行事などが中心ですが、「私の1日」「私の家族」など初級ですぐに使えるものもあります。

見たいニュースを選ぶと、朗読している人の映像を見ながらニュースが聞けます。ビデオはサイズが小さいQuickTime用と、音がきれいなRealPlayer用の2つの種類が用意されていて、どちらのソフトも無料でダウンロードできます。QuickTime がインストールされていれば、次のようなボタン  が出るので、 をクリックするとビデオが始まります。また「Show text with video」をクリックするとスクリプトが読めます。オンライン辞書へのリンクがついているので、難しいことばの意味や読み方をすぐに調べられます。「Gap filling exercise」は穴埋め問題で、スクリプトの開いているところにことばを入れる練習です。答えが正しいかどうか、かんたんな評価もしてくれます。

みなさんのコースで「インターネット放送局」を使う場合、教室で聞かせる方法と、学習者が自宅やコンピュータ室などで自習する方法があります。インターネットに詳しい人なら、スクリプトやビデオだけを学生に見せて、課題を出すこともできます。教室にコンピュータがなかったら、テープレコーダーに録音して教室でスクリプトや穴埋め問題を印刷して配って、そ

れを使ってタスクを出すという使い方があります。

いくつかタスクの例を紹介します。第19週の初級「私の思い出」を聞く前に、「旅行、中国、砂漠、乗り物」などのキーワードを見て内容を想像します。それから聞いた後ですぐ、内容がわかったか確認する問題に答えて、できなければもう一度聞きます。最後に学習者が自分の旅行の思い出を話したり書いたりします。また、聞く前に穴の開いたスクリプトを読んで、 に入ることばを考えるのもおもしろいでしょう。



第17週の上級「電力不足」は、原子力発電所の停止によって電力不足の心配があるので、節電の目的で「でんき予報」という広報を始めたという内容です。上級のクラスなら、背景を調べてから、原子力発電の利用について短いイベント活動ができます。また同じニュースでも、自分たちで「〇〇予報」(例: きょう1日どれくらい元気かわかる「げんき予報」など)を考えて説明するというタスクなら、中級や初級の授業でも使えます。

みなさんもクラスのレベルや目的に合わせてタスクを考えて使ってみてください。インターネットを使った聴解練習の例は、Randall's ESL Cyber Listening Labという英語学習者用のサイト (<http://esl-lab.com/>) が参考になります。

日本語・日本語 教育を研究する

第22回

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究について情報をおとどけしています。今回のテーマは「流行と日本語教育」です。



大阪外国語大学教授 小矢野 哲夫
こやの てつお

流行語と日本語教育

流行語と日本語教育

海外在住の日本語学習者で、最新の日本事情を知る一つ的手段として流行語に関心を持つ方が少なくないと聞きます。実際、日本の現代事情や文化を紹介する授業で流行語を取り上げるのは、一つの有効な方法かもしれません。流行語と日本語教育は直接的に結びつく必須の関係にあるとは言えませんが、上級以上の授業の中で、流行語が出てきたときの対応として、流行語をどうとらえるかといったことを述べたいと思います。

流行語は世相を表す

新語はそれ以前にはなかった語ですから判定が容易で、現代用語集の年次版に載っています。しかし、ある語が流行語かどうかの認定は難しい問題です。多くの人が知っていてよく使う、目立つ語、耳に残る語といったことが一応の基準ですが、お墨付きが与えられるわけでもありません。自由国民社の「日本新語・流行語大賞」や「電通 消費者情報トレンドボックス 広告景気年表」が一つの目安になるでしょう。しかし、流行語かどうかの認定よりも、ある語がどのような背景で使われているかを知ることが大切です。

流行語は、ある時期、政治・経済・社会・文化・芸能などの分野で使われるようになった言葉が、広い地域で多くの人々に一定期間、使われたものです。このような言葉はそのときどきの世相を表しています。

「ま、いっか」「だよー」は流行する以前からごく普通に使われていましたが、阪神淡路大震災と地下鉄サリン事件が起きた1995年に、和製ラップのタイトルと歌詞として使われて一躍流行語になりました。安全神話が崩れたこととこの言葉の流行には不釣り合いな共存という世相を見ることができます。

平成大不況は回復の兆しが見えません。「首切り」「解雇」と呼ばれていたことが、1993年ごろから盛んに「リストラ」と言われるようになり、現在に至っ

ています。しかし、この言葉の陰には、リストラされた人や、その家族がいます。言葉に注目するとともに、関係する人々のことも考えてみる必要があります。流行語は単なる言葉の問題にとどまりません。

古い話ですが、1932年の経済不況によって農漁村に20万人の「欠食児童」が出ていると発表されました。これを契機に、学校給食が実施されるようになりました。この言葉は、筆者が小学生だった1950年代後半から60年代前半のころ、母がよく使っていました。流行語でなくなってからも庶民の間では普通に使われていたものと思われます。食べたくても食べられない子どもがいたのです。飽食の時代の現代では死語ですが、言葉の背景と切り離すことはできません。

1988年の流行語だった「フリーター」は2001年度の『国民生活白書』で「高卒無業者とフリーターの増加」というコラムを設けるほど増えました。文部科学省も2003年6月に「キャリア教育総合計画の推進」の中で、「より高度な知識を習得したいフリーターへの支援」「就きたい職業・やりたい職業を見つけないフリーターへの支援」などを打ち出しています。もはや、流行語扱いができない深刻な事態です。

このように、流行語には、流行が終り、現象もなくなると使われなくなるものもあれば、一般語になって国語辞典に登録されて使われ続けるものもあります。単に言葉だけの問題にとどまらず、それが流行した、あるいは発生したときの世相及びその中で生きていた人々と関連づけて理解するべきものだと思います。

言葉の背景的知識の教育

日本語教育で語彙指導が行われます。そこではもちろん語彙の意味が説明されるのですが、言葉には使われてきた歴史的背景を強く帯びているものがあります。流行語はまさにそれです。こういう言葉を、特に上級レベルで指導するときには、世相と

いった歴史的背景の知識も盛り込むと有効です。

日本語教師は幅広い知識を身につけていることが理想ですが、流行語というところがか軽く浮ついたものだという先入観を持っている人も少なくないのではないのでしょうか。しかし、ビデオ教材や生の読解教材を使うときには流行語が多かれ少なかれ出てきます。流行語だと意識されなくなった言葉もあるでしょう。ここで語彙の意味だけを教えたのでは教育効果としては不十分だと言わざるをえません。背景知識も導入することになります。すると、単なる語彙指導から日本事情的な展開になることも予想されます。

流行語とジェンダー

日本国際教育協会 (AIEJ) のホームページに「平成 15 年度 日本語教育能力検定試験実施要項に基づく公開用問題」があります。その中に、こんな問題がありました。

『OL』は若い女性事務員を指す和製英語である。この『OL』という言葉はいつ頃から使われるようになったか。次の 1～5 の中から一つ選べ。

- 1 1940 年代 2 1950 年代 3 1960 年代
4 1970 年代 5 1980 年代

正解は「3」です。なぜこんな問題が出題されたのか、日本語教育能力とどんな関係があるのか、と少し疑問に感じました。しかし、「出題のねらい」を見ると、これは「ジェンダー表現」の問いの一つで、「ジェンダー表現に対する知識や言語感覚を問うとともに、ある種のジェンダー表現の時代背景についても問う問題」だとのこと。『OL』という語を「ジェンダー表現の時代背景」においてとらえようというものだったのです。単に 1960 年代の用語であるとして片づけてしまえません。流行語とジェンダー問題が直接的に結びつく例は多くありませんが、言葉とジェンダーは今日的な重要な問題で、日本語教育でも避けて通ることはできません。

流行語の調査

ところで、『OL』という語の由来や出現時期を知るにはどうしたらよいでしょう。

新語や流行語の辞典や書物を調べるか、インターネットの検索エンジンで検索する方法があります。辞典や書物が簡単には手に入らない海外在住の日本語学習者や日本語教師の方々にはインターネット検索が有効です。

『OL』は『週刊女性自身』（光文社）1963 年 11 月 25 日号で、それまでの『BG』に代わって初めて使われました。『BG』に、売春婦という意味があることが問題になり、東京オリンピックを翌年に控えて、世界各国から人を招くのにふさわしくないという空気がありました。NHK が 63 年 9 月に『B

G』を放送禁止用語にしたこと、それに呼応するように『週刊女性自身』が新しい用語を募集し、一番支持が多かった『OL』を採用することに決めて、11 月 25 日号で発表したというのがいきさつです。

この『OL』は誕生して今年で 40 年になり、国語辞典にも登録されてすっかり一般語になっていますが、作られた当時は、あこがれだったそれまでの丸の内の BG に代わって OL が若い女性のあこがれの的になりました。

しかし、40 年も経過するうちに、OL の社会的な位置づけや周延的な語義も変質して、先に紹介したジェンダーの問題としても扱われるようになったのです。

流行語の研究

流行語を研究対象とすると、すでに述べたように、世相との関係が大切になります。一般語はいわば空気のような存在で、世相との関係は直接的には出てきません。しかし、流行語及びそこから一般語になったものは、世相との関係を視野に入れて理解する必要があります。世相はとらえにくいものですが、その中で人々が暮らしていますので、流行語と世相と人々との相関関係をとらえてみるのは意義のあることです。

人とのかかわりを視野に入れると、微視的ですが、理解が深まると思われれます。普通は巨視的な観点から研究するのですが、流行語を使う人と使わない人、知っている人と知らない人、同じ世相の中に暮らしていても流行語との距離の取り方が人によって違います。筆者としては、単なる一過性の言葉という視点でなく、具体的な人とのかかわりにおいて流行語をとらえることが必要だと常々考えています。

かつて、『流行語と若者ことば』（『国文学』）、『流行語に見る今の世相』（『日本語学』）を書いていますので、お読みいただくと幸いです。

基本的な参考文献

- 『国文学』1997年12月号 特集 流行語 (学燈社)
- 『日本語学』2002年11月号 特集 経済・世相・ことば (明治書院)
- 米川明彦 (2002) 『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』 (三省堂)
- インターネットの検索エンジン
<http://goo.ne.jp/> や <http://www.google.co.jp/>
- 日本新語・流行語大賞
<http://www.jiyu.co.jp/gendai/shingo/shingo.html>
- 広告景気年表
<http://www.dentsu.co.jp/trendbox/adnenpyo/>
- 日本国際教育協会 <http://www.aiej.or.jp/>

写真で見る 日本人の生活

「おつかれさまでした」…はたらく

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」を使って、初中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は、初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使っています。今回は、「はたらく」に関する写真パネルを集めてみました。

会社員

金子強さんは、25才の会社員です。埼玉県に住み、東京の会社につとめています。

会社に行く

埼玉の家から会社までの時間は、101分です
(注1)。電車の中では、新聞を読んだり、本を
読んだりします。わかい人は、
けいたい電話でメールを見たり、音楽を聞いたりする人が
多いです。



会社

コンピューターを使って仕事をする

会社では、コンピューターでメールを見たり、
かいぎのじゅんびをしたり、品物を売るための
計画を考えたりします。



かいぎに出る

きょうのかいぎでは、コンピューターを使っ
て新しい品物についてせつめいをしました。



昼ご飯を食べる

会社員がじゆうに使えるお金は、月に31,063
円です (注2)。昼ご飯代も、この中から出し
ます。東京の会社員の昼ご飯代は、850円です
(注3)。

会社にのこって仕事をつづける

午後5時ころに仕事の時間が終わります。で
も、まだ仕事が終わりません。きょうはすぐ
に帰らないで、仕事をつづけます。1年の仕
事の時間は1,848時間と少なくなりました (注
4)。これは、アメリカの1,991時間、イギリス
の1,902時間 (1999年) より少ないです。



資

注1. <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2001/jikan/chiiki/chiiki.htm>

総務省統計局 平成13年社会生活基本調査 結果票一覧
(2002年9月30日公表)

http://www.stat.go.jp/data/shakai/2001/jikan/chiiki/zuhyou/a004_11.xls

第2表 曜日、男女、普段の就業状態、年齢・従業上の
地位、雇用形態・職業、行動の種類別総平均時間

注2. <http://www.kurashi.pref.saitama.jp/>

料

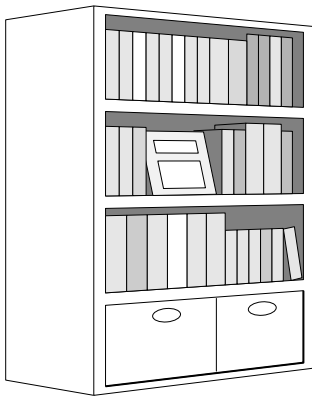
彩の国くらしプラザ 埼玉県生活科学センター
<http://www.kurashi.pref.saitama.jp/kurashi/chishiki/vol277.html>

VOL.277 (平成12年7月)

注3. <http://www.tdb.co.jp/> TEIKOKU DATA BANK
http://www.tdb.co.jp/watching/cos02_02.html
TDBWATCHING

アンケート特報 (1997年)

注4. 『JAPAN ALMANAC 2003』朝日新聞社 (2002年)



本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っているると便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

ルールを発見して場面に合った使い方を身に付ける

『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—』

●データ●
 1 庵功雄、清水佳子 2 スリーエーネット
 ワーク(〒101-0064 東京都千代田区猿樂
 町2-6-3(松栄ビル) / TEL. 03-3292-5751
 FAX.03-3292-6195 URL.www.3anet.co.jp
 3 2003年2月20日 4 4-88319-242-3 5 B5
 判72ページ 6 1,365円 7 別冊解答付き

たや練習の提示の方法などの点で参考になります。

▽設問に答えながらルールを 考える

構成は、1章「～する、～した、～してしまう」、2章「～している、～し続ける、～してある、～しつつある、～したことがある」、3章「時間を表すその他の表現」となっていて、各章は、「ウォームアップ」→「本文」→「総合練習」という流れで進みます。

「ウォームアップ」では、学習者は簡単な質問に答えることによって、これまでの理解を確認することができます。

「本文」には「問」「まとめ」「練習」が含まれます。「問」は、設問に答えながら、自分でルールを導き出せるようになっていて、続く「まとめ」でルールを整理しています。「まとめ」の部分は網掛けになっていますから、あとでもう一度要点を見たいときに探しやすいです。そのあとに理解の確認のための「練習」が

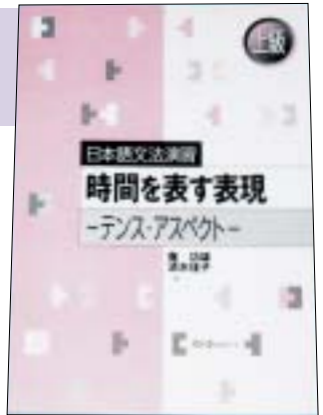
あります。

「総合練習」には、「本文」で学習した文法知識を使って日本人向けに書かれた生の文章を読む練習があります。

テンス・アスペクトについてのまとまった説明は「ちょっと一息」というコーナーにあります。「ちょっと一息」は全部で5つあります。

巻末にはテンスとアスペクトについての総合的な練習として「総合演習」があります。使われている文章はすべて生の文章です。

この本を終わりまで読むと、段階に合った練習を積み重ねることができ、テンス・アスペクトについて自分なりのルールと勘を身に付けることができるでしょう。



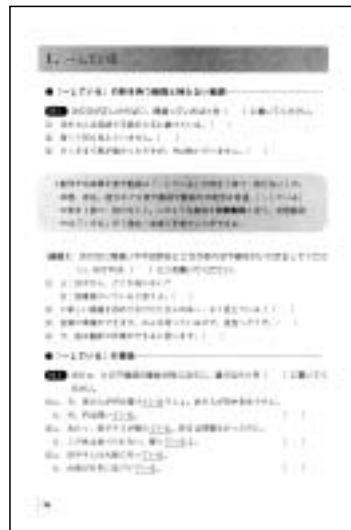
▽上級レベルの学習者のために

文の基本構造にかかわる文法項目は、普通、初級段階で一通り学習しますが、基本的で重要なだけに実は奥が深く、初級の間に完全に使えるようになるのは難しいと思っている人は多いのではないのでしょうか。本書のテーマである「～する、～した、～している」の形に代表されるテンス・アスペクトもこのような文法項目のひとつです。

本書は、上級の学習者が体系的に知識を得られるのと同時に、上級レベルの豊かな表現が使えるようになるよう工夫されています。また、上級の学習者を指導する教師にも、説明のしか



P. 25



P. 26



P. 27



P. 28

必要な情報を盛り込むコツが学べる一冊

『日本語を書くトレーニング』

データ

1野田尚史、森口稔 **2**ひつじ書房 (〒112-0002 東京都文京区小石川5-21-5 TEL.03-5684-6871 FAX.03-5684-6872 URL www.hituzi.co.jp **3**2003年3月20日 **4**4-89476-177-7 **5**A5判128ページ **6**1,050円

「日本語を書く」ときに、どんな情報をどんな順序で書けばよいか、悩みます。本書では具体的な目的のある文章を書くための書き方が学べます。本書は日本の大学や短大の「日本語表現法」、「文章構成法」などの授業で学ぶ日本人を対象として書かれたものです。しかし、いろいろな内容があり、必要な情報を盛り込むコツが学べるように作成されているので、海外で日本語を学ぶ中上級レベルの人にも使えろと思えます。ゆっくり授業をすれば、1年間のテキストになりますし、興味にあわせてテーマを選んて使うと半年間のテキストにもなります。

内容はトレーニング1から15まであり、「携帯メール」「看板」「広告」「企画書」「アンケート

ト用紙」「レポート」「就職のためのエントリーシート」などがあります。例えば、トレーニング1の「お知らせのメール」では、

- ・同窓会
 - ・サークルの新生歓迎会
 - ・ゼミのコンパ
 - ・先生に授業の長期欠席の連絡
- などの文章例があります。

それぞれの内容が1ページで構成され、日常的で実用的な文章例の悪い点を見つけ、それを書き直すように作成されています。書くトレーニングですから、読むだけでなく、文章例についての「問題」や各トレーニングの最後にある課題をやっていくことで力がつきます。ただ、その問題・課題の答えはついていません。

使い方については、学生を2～5人ぐらいのグループにわけて、それぞれ1ページ分の問題を考えてもらい、その結果をみんなの前で発表するという形が紹介されています。



P. 24



P. 25

優れた実践からこれからの教育を考える

『実践に学ぶ情報教育—これからの学習を変える』

データ

1赤堀侃司 **2**ジャストシステム出版部 (〒107-8640 東京都港区北青山1-2-3青山ビルディング TEL.03-5412-3900 FAX.03-5412-3910 URL www.justsystem.co.jp **3**2002年11月25日 **4**4-88309-237-2 **5**A5変形判256ページ **6**1,680円

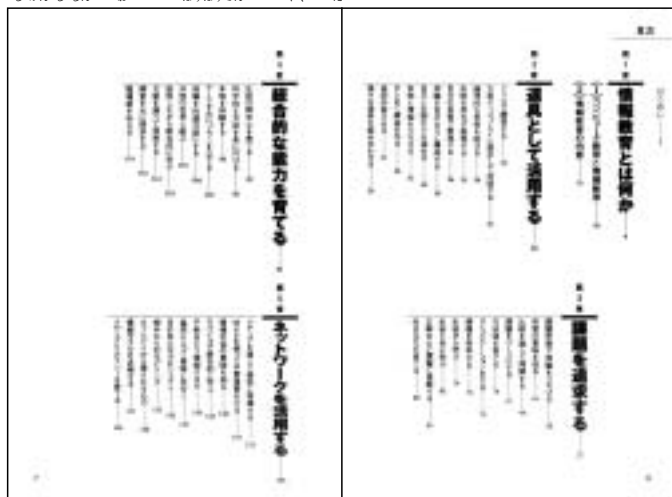
日本語教育においてもコンピュータやインターネットの利用は、身近な話題の一つとなっていますが、「教師が日々の教育実践の場にコンピュータやインターネットを積極的に取り入れているか」と考えてみると、必ずしもそうではないようです。それは、単に面倒だからというだけでなく、教師一人一人がその意義をなかなか見出せないでいるからではないでしょうか。

本書では、著者自らが見学し心に響いた、学校教育現場での53の情報教育の実践事例が紹介されています。これらの事例から、日本語教育現場におけるコンピュータやインターネットの利用の意義について考えるためのヒントが得られるでしょう。

全体は8章から構成されていますが、具体的な実践事例の紹介は、2章から6章の5つの章に散りばめられています。例えば、「第2章 道具として活用する」では「自分の言葉で表現する」というタイトルで、アメリカの小学校の自分史という題材の授業で、自分史についてワープロソフトで文章作成をするという事例を紹介しています。この授業で、なぜワープロソフトを使うのでしょうか。自分史を書く作業は、自分を取り巻く社会的な状況や、自分自身の生い立ちを調べ、その意味を探り、それを文章にして表現する過程と考えられています。いろいろな事実を知り、文章にしようすると、何回も修正したり、内容を追加したりしなければなりません。ワープロソフトは、単に便利だけでなく、修正しながら表現できる道具、失敗を許してくれる道具なのです。このような道具を使って、自分の言葉で表現する点で意味があるの

です。このような実践の背後にある深い意味を読み取りながら、日本語教育の現場でも、これからの実践を考えたいものです。

理論的な背景について学びたい場合は、本書の姉妹編「教育学への招待—教育の問題解決の方法論」が役に立つでしょう。



P. 7

P. 6

聴いて、歌って学ぶ日本語・日本事情
き うた まな にほんご にほんじじょう

『Learning Language Through Lyrics (vol.1:Classical Japanese Pop Songs)歌って上達 日本語会話』
うた じやうたつ にほんごかいわ

データ

1 M.J. アイナン、金子栄美 2 凡人社
（〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-
13 菱進平河町ビル1F TEL.03-3263-3959
FAX.03-3263-3116 URL www.bonjinsha.
com/index-j.html E-mail info@bonjinsha.
com 3 2002年12月26日 4 4-89358-529-0
5 A5判136ページ 6 1,365円

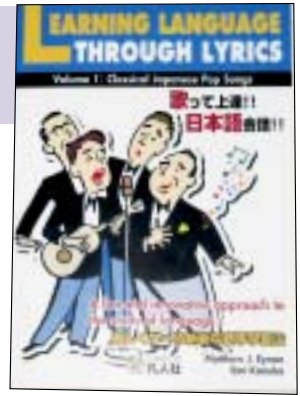
本書は、1970～80年代に活躍し、今日でも有名な8組のアーティストの曲を集めた、歌で学ぶ日本語教材です。20～30年前の曲なのでClassical Japanese Pop Songsという英語の副題が付いていますが決して古くはありません。今でも誰もが知っている名曲ばかりですので、ぜひ覚えて世界の共通語になった「カラオケ」で歌ってみてください。恋愛を歌った歌詞が多いので、中級レベル以上の大学生や社会人の学習者に特におすすめです。

収録されている曲は全部で16曲あります。各章は、まずアーティストのプロフィールや今までの作品の簡単な紹介で始まります。続いて、

歌詞→その歌詞のローマ字書き→英語訳→単語の意味→文法解説の順番で2曲が紹介されています。

教室での利用法としては次のような使い方が考えられます。まず、一度歌詞を見ないで曲を聴き、理解した内容や印象について話し合います。次に、歌詞を見て、誰が誰にどんな気持ちを歌っているのか考えながら内容を話し合います。わからない部分があったら単語の意味や文法解説のページを利用してください。また、言葉の省略や背景となる日本文化についても教師はここで確認、紹介します。歌詞の英語訳もありますが、最初は自力で考えるようにします。だいたい内容がわかったら、もう一度歌を聴きます。最後に皆で歌ってみるといいでしょう。

残念ながら本書にCDはついていませんが、これらの曲は日本国内ではもちろん、インターネットを使えば世界のどこにいても安く手に入れることができます。各所にURLの紹介がありますのでそれを参考にしてください。



P. 91

日本語で表現することを学べる辞書

『日本語学習 基礎英日辞典』
にほんごがくじゅう きそえい にちじてん

データ

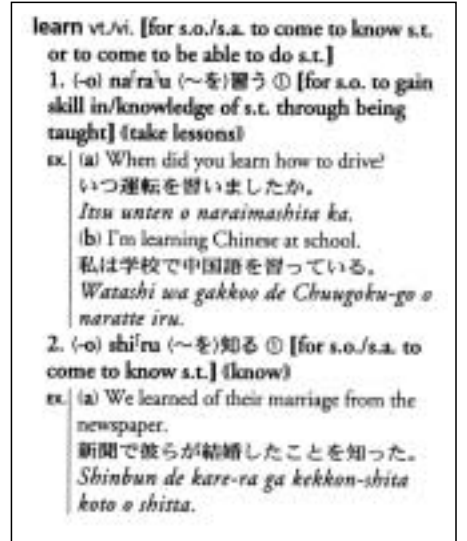
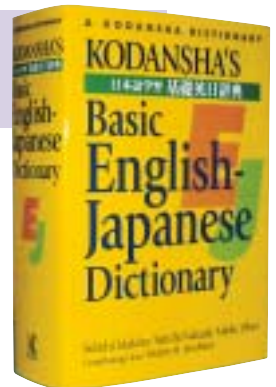
1 牧野成一、中田清一、大曾美恵子編 2
講談社インターナショナル（〒112-8652
東京都文京区音羽1-17-14 TEL.03-3944-
6493 FAX.03-3944-6394 URL www.kodan
sha-intl.co.jp 3 2002年11月8日 4 4-7700-
2895-4 5 A5変形判・1,508ページ 6 4,725
円 7 見出し語4,500語以上

本書は、母語や第二言語で英語がわかる日本語学習者、研究者が日本語で話したり、書いたりするときのための辞書です。日常生活でよく使う4,500語の基本的な英語のことは対応する日本語を例文とともに探すことができます。英語のことは対応する日本語は、ときにはとてもたくさんあります。この辞書では、英語、日本語のことはそれぞれに基本的な意味が書かれています。例えばlearnということばでは、[for someone / some animal to come to know something or to come to be able to do something]とあります。このことばに対応する日本語としては、「習う」「知る」「覚える」と

いう違うことばが三つ挙げられていて、それぞれ別々に基本的意味の解説があります。このような基本的意味のうち、どのような意味が日本語のことはと共通しているか考えることができます。英語と日本語の意味の違いを分析的に理解できるようになっています。

日本語のことはや例文は、ひらがな、カタカナ、漢字だけでなく、ローマ字でも書かれているので、日本語の表記に慣れていない学習者でも使えます。ローマ字には高低アクセントの記号がついています。動詞、形容詞には、活用に関する情報もあります。

巻末付録には、日本語のことはから英語のことばを探すための表があります。この部分を使って、日英辞書としても利用できます。また、基本的な日本語の文法説明や、ビジネス、医療などのことばリスト、日本の家の図など、様々な情報が紹介されています。このような部分は、辞書としてだけでなく、日本語の教材としても利用できるでしょう。



P. 525

P.15～17は以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

木山茂登子、雄谷進、島田徳子、押尾和美、古川嘉子（執筆順）
きやまと も こ おおや やすし しまだ のりこ おし おかずみ ふるかまよし こ しゅげつしん

授業のヒント

今回は、漢字をはじめて教えるときの導入法を紹介します。

テーマ 漢字の導入 (オリエンテーション)

目的
・漢字学習のポイントを知り、今後の漢字学習に役立てる。
学習者のタイプ
・初級 (漢字の入門)
クラスの人数
・何人でも
準備するもの
・特になし (練習用シートは適宜、付録の漢字カード)

非漢字圏の日本語学習者にとって漢字の学習は難しく、時には苦しいものです。漢字をはじめて教えるときには、学習者が漢字に興味を持って学習のポイントを理解し、これから楽しく、そして効率的に勉強できるような導入 (オリエンテーション) をしましょう。

◆漢字はいつ使うのか

はじめに学習者にひらがな、カタカナ、漢字がまじった文を見せます。文は学習者に合わせて教師が短文を作っても、日本のマンガや広告などの生教材を使ってもいいでしょう。学習者がこれからの漢字学習に興味を持ってもらう材料をさがしてください。

そして、日本語には漢字・ひらがな・カタカナの3種類の文字があることを確認して、それぞれの文字の使い方を説明します。日本語の文字の使い方のルールは本来はゆるやかなもので、例外もたくさんありますが、入門段階の学習者には、ポイントをしばって、それぞれの文字の基本的な使い方がわかるような説明をしましょう (以下は説明のポイントを簡単にまとめたものです)。

- **カタカナ**：外国の人名・地名、外来語、擬音語・擬態語などを書く。言葉を目立たせるために使うこともある。
- **ひらがな**：カタカナで書く言葉以外は何でも書ける。助詞・助動詞と活用語尾は必ずひらがなで書かなければならない。副詞や接続詞もひらがなで書く。

らがなで書くことが多い。
● **漢字**：カタカナとひらがなで書かなければいけない言葉以外はだいたい漢字で書くことができる。日本の人名・地名をはじめ、日本人の生活では漢字が広く使われている。

◆どうして漢字を使うのか、漢字はいくつあるのか

漢字を教えると、学習者からこのような質問を受けることがあると思います。

日本人の漢字使用には歴史的な経緯がありますが、ここでは学習者の学習意欲を高めることが目的なので、以下のように日本人が現代の生活で漢字を使う利点を説明しましょう。

- 漢字には意味があるので、言葉の意味が推測しやすく、記憶しやすい。
- かなだけの文より漢字がある文のほうが読みやすい。
- 漢字を使うと字数を減らすことができるので、限られたスペースにたくさんの情報をのせることができる。

次に漢字の数ですが、現在の日本人の日常生活で使う漢字の目安として「常用漢字」1,945字があります。学習者にとってはこれが1つの目標になると思いますが、参考に以下のような数字をあげてもいいでしょう。

- 日本で一番大きい漢字辞書 (『大漢和辞典』大修館書店) の収録字数 約5万字
- 日本語能力試験の漢字数

4級	3級	2級	1級
100字	300字	1,000字	2,000字

◆漢字はどのようなものか

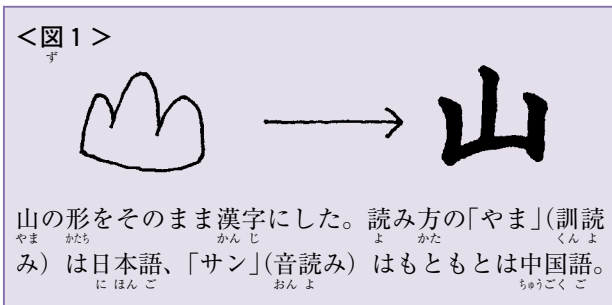
以上のように、日本語学習では漢字が大切なことを学習者に納得してもらったうえで、いよいよ漢字そのものを導入します。

学習者は漢字を学習する前にななを習得しているので、最初以下のような漢字とかなの違いを紹介します。

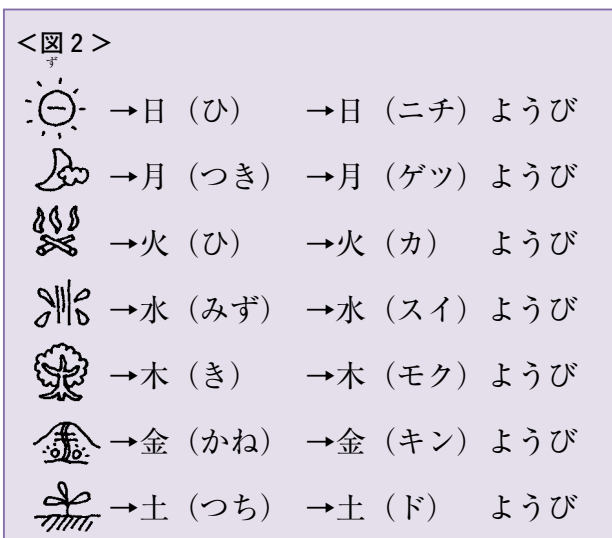
- **かな**：漢字から作られた日本の文字で、形と音はあるが意味はない。そのため、形と音を覚えればよく、数も少ない。

●漢字：もともとは中国の文字。最初は絵や記号から作られたので、形と音の他に意味がある。また、ほとんどの漢字には、日本語の音（訓読み）と中国語の音（音読み：漢字が日本に伝わったときの音で、今の中国語とは違う）がある。そのため、形と音（複数）と意味を覚えなければならず、数も多い。

そして、たとえば「山」という漢字を例にとって、次のような説明をします。

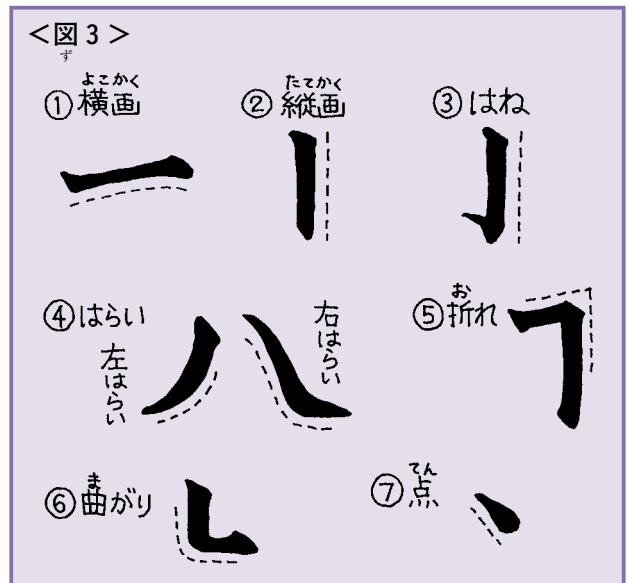


このような「絵からできた漢字」には、たとえば曜日を表す以下のような漢字があります。カードやパズルを使って、絵と漢字を結びつけるゲームをしてもいいですよ。



◆漢字の書き方

次に漢字を書く練習をします。最初は漢数字「一、二、三、四、五、六、七、八、九、十」を練習させましょう。漢数字の読み方や意味はアラビア数字(1、2、3...)と同じですから、特に説明する必要はありません。そして、漢数字には以下のような漢字を書くときに必要な線(筆画)がすべてふくまれているので、漢字の書き方の基本を身につけることができます。



特に「はらい」や「折れ」、「曲がり」は漢字を書くときにとても大切なので、ていねいに説明して正しく書かせましょう。なお、このときに毛筆や筆ペンを使うと気分が出て楽しいだけではなく、正しい筆画を身につけるのにも役立ちます。

◆漢字カレンダー

漢数字が正しく書けるようになったら、クラスで「漢字カレンダー」を作ってみましょう(付録として付けた実物大のサンプルを見てください)。

漢字カレンダーを作るときは、漢数字を何度も書くことになるので、筆画の練習にもなります。最初に紹介した曜日の漢字も漢数字と同じように練習します。グループに分かれて1年分のカレンダーを作るといいでしょう。

◆漢字を増やすために

以上のように、漢字をはじめて教えるときに漢字学習のポイントを紹介することは、これからの学習に役立ちます。同じように、漢字の学習の進み方に合わせて、いろいろな漢字学習のポイントを紹介すると、学習者は効率的に漢字を増やすことができます。そのような方法については以下にあげた教材を参考にしてください。

参考文献

- 『教師用日本語教育ハンドブックシリーズ 新表記』国際交流基金日本語国際センター 1994
- 『日本語教師のための漢字指導アイディアブック』創拓社 1995
- 『漢字がたのしくなるシリーズ』太郎次郎社 1989-98
- 『BASIC KANJI BOOK vol.1-2』凡人社 1990

文法をやさしく

ぶん ぼう

第6回 Vている

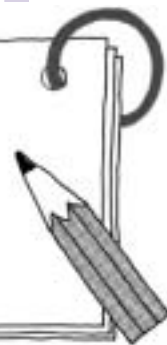
だい かい

学習段階：初級後半

がくしゅうだん かい しょきゅうこう はん

キーワード：アスペクト、結果の状態、動作の継続

けつ か じょうたい どう さ けいぞく



前回は「Vてきた・Vていく」の説明の中で、アスペクトの文法形式について少しだけおぼえました。今回もこのアスペクトに関する「Vている」をとりあげます。

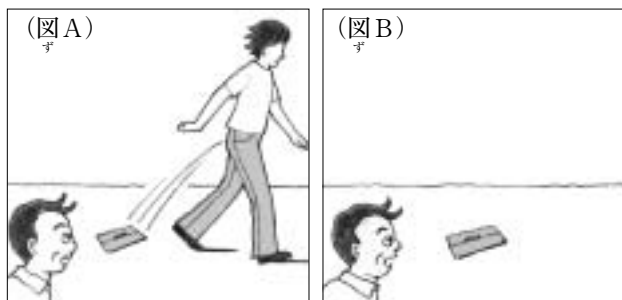
1. 状態について

まず、〈1〉〈2〉を見てください。

〈1〉 あ、さいふが落ちた。

〈2〉 あ、さいふが落ちている。

〈1〉と〈2〉では、話し手が見たものが違います。それぞれどちらの絵か考えてください。



〈1〉の「落ちた」では、お金が落ちるできごと（動き）を見たこととなります（図A）が、〈2〉の「落ちている」のほうではお金が落ちるできごとを見ているのではなく、落ちたあと今もそこにある状態を見えています（図B）。

ほかの例も見ましょう。下の新聞記事の例を見てください。インターネットのサービスで、コンピュータがフリーズしたときなどに問題が解決できると書いてあります。

日本IBMは16日から顧客のパソコンのこんなトラブルを、インターネットなどを通じて復旧するaサービスを始める。米国では先行してbサービスを始めているが、

(後略)

顧客…客
復旧する…なおす
トラブル…trouble

2003年4月15日『朝日新聞』p.10

「PCトラブルを自動解決」より

(下線およびa bは荒川・木山による)

か せん たらかわ きやま

下線のa bに注目してください。この記事によると、日本ではこれからサービスを始めるそうです。では、米国ではどうでしょう。「先行してサービスを始めている」というのは、「先に始めて、今もその状態が続いている」わけですから、利用者は今そのサービスが受けられる状態です。

〈2〉でもbでもいえるのは、あるできごと（動作）が起きてその結果がそのまま続いていることです。ここではこのようなアスペクトを「結果の状態」と呼ぶことにします。

2. 「Vている」の使い方

次の〈3〉～〈6〉を見てください。結果の状態を表しているのはどれでしょうか。

〈3〉 A：コピーしたいんですけど。

B：すみません。今、使っています。

〈4〉 A：サンドイッチ、まだありますか。

B：たまごサンドが少し残っています。

〈5〉 あのぼうしをかぶっている人はだれですか。

〈6〉 10時ごろはテレビを見ています。

答えは〈4〉〈5〉です。これに対して〈3〉〈6〉は動作が続いている状態、つまり継続であることを表します。〈3〉は、今、話し手がコピーの機械を使うという動作をしている状態です。〈6〉は、夕食後の過ごし方などを話しているときなどにいいます。そのころはテレビを見ているという状態が続いていることを表しています。

では、結果の状態と動作の継続はどうやって区別するのでしょうか。

3. 動詞の意味と「Vている」の意味

次の会話例を見てください。

つぎ かい わ れい み

(ホーム・パーティーで)

客：妹さん大学院生だそうですが、独身ですか。

兄：c 結婚していますよ。去年 c' 結婚しました。

客：そうですか。妹さんのご主人もここにいらっしゃいますか。

兄：ええ、今、妹といっしょに d ダンスしていますよ。

客：楽しそうにダンス o しています / x しました d' ね。



c は (4) (5) と同様、結果の状態を表しています。結婚して独身でなくなったのは、結婚の手続きが終わった瞬間です。このように動きや変化が起きてから、とても短い時間 (= 瞬間) で終わる動詞の場合、「Vている」は結果の状態を現すことが多いといえます。

d は (3) (6) と同様、動作の継続を表します。ダンスのように始まってから終わるまでに時間がかかる動作や変化を表す動詞は動作の継続になりやすいといえます。「Vている」が結果の状態を表す c や (7) は、その場で「Vました」も使えます (c') (7')。d や (8) は動作の継続の「Vている」で、「Vました」は使えません (d') (8')。

(7) 課長は先週から入院しています。来週退院します。

(7') 課長は先週入院しました。来週退院します。

(8) 課長はけさから手術を受けています。もうすぐ終わるでしょう。

(8') 課長はけさから手術を受けました。もうすぐ終わるでしょう。《??》

(9) (10) はどちらにも同じ「はく」という動詞が使われています。文の意味を比べてみてください。

(9) 工事中は、みんな丈夫で安全な靴をはいています。

(10) (幼稚園が終わり、家へ帰る時間に)

子どもたちが自分でいっしょうけんめい靴をはいています。

(9) は工事現場の人たちの服装を説明する文です。靴をはいたのは工事中ではなく、その日の工事を始める前です。これは結果の状態です。一方 (10) は、幼稚園の玄関で、子どもたちが靴をはこうとするようすを述べています。小さな子が靴の右と左を確かめたり、ひもを結んだりするには、ちょっと時間がかかるでしょう。つまり、この例は動作の継続の「Vている」です。

このように、同じ動詞が「Vている」文型に使われていても、アスペクト上で違う意味になることはよくあります。大切なことは「Vている」の文の意味は、その語のまわりにどんなことばがあるか、どんな文脈や場面で言われているかによって、初めてわかるということです。

クイズ

(a)~(d) から結果の状態の「Vている」を選んでください。答えは2ページにあります。



場面：飛行機でパーサーが忙しそうに(a)働いています。

乗客 A：この料理は、豚肉を(b)使っていますか？

パーサー：いえ、お肉はとり肉だけでございます。

乗客 B：あのう、今、だれがお手洗いを(c)使っていますか。

パーサー：そうですね。(d)ランプがついていますから……。

参考文献

庵功雄・清水佳子 (2003) 『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—』スリーエーネットワーク

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

担当者：荒川みどり (日本語国際センター客員講師)、木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)

『日本語教育通信』 2003年度読者アンケート集計結果

にほんごきょういくつうしん

ねんどどくしゃ

しゅうけいけつか

本誌第45号(2003年1月号)で実施した読者アンケートには、71ヶ国868件の回答(回答率5.4%)をいただきました(2003年9月現在)。その集計結果の概要を報告いたします。

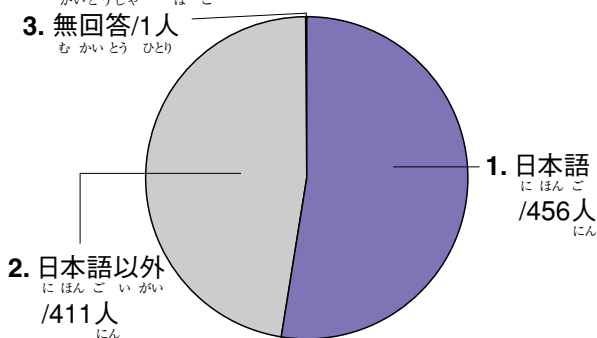
1. 回答者について

国別の回答件数では、オーストラリアからが一番多かったのですが、母語別では、国内外に住む日本語母語話者からの回答が過半数を超えました。日本語非母語話者の中では、中国語を母語とする方からの回答件数がトップで、次に英語母語話者が続きます。アンケートの回答言語が日本語と英語の2ヶ国語しかなかったためか、日本語学習者人口が多い韓国からの回答が少なかったのは残念でした。

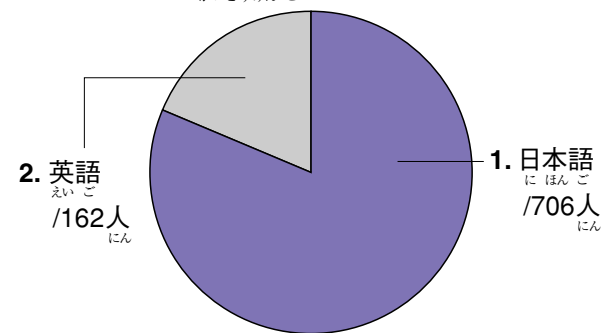
(1) 在住国と回答数(全体 & 日本語非母語話者)

在住国	回答件数	うち、日本語非母語話者
オーストラリア	127	67
中国	103	103
日本	95	7
米国	94	18
ブラジル	46	14
ドイツ	38	7
ニュージーランド	30	11
韓国	28	26
タイ	28	22
英国	22	6
カナダ	22	4
インドネシア	20	16
フランス	16	3
マレーシア	14	11
ロシア	14	13
インド	11	7
フィリピン	10	7
イタリア	10	3
ウクライナ	9	9
スペイン	8	2
ハンガリー	7	3
ベトナム	7	6
ポーランド	7	2
スイス	5	1
スウェーデン	5	1
スリランカ	5	4
トルコ	5	2
ペルー	5	1
メキシコ	5	2
アルゼンチン	4	1
その他41ヶ国	60	32
在住国無回答	8	—
合計	868	411

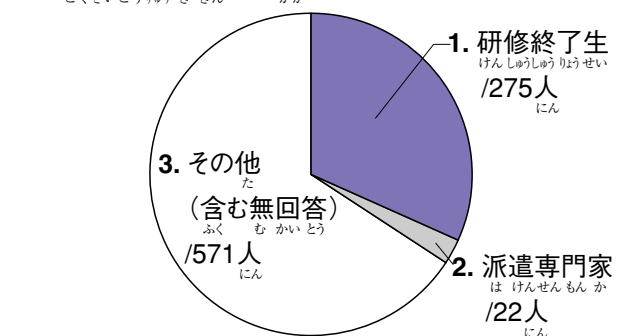
(2) 回答者の母語



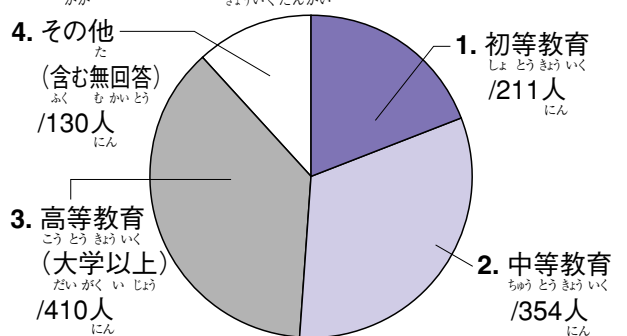
(3) アンケート回答言語



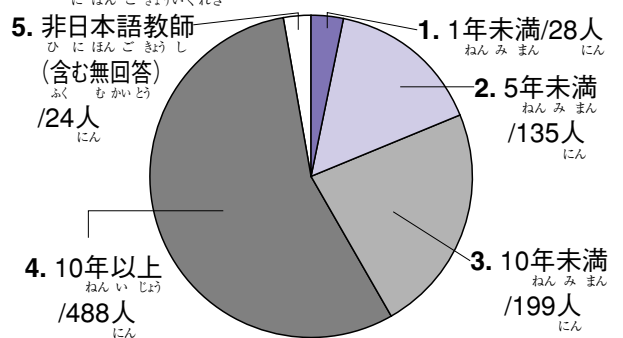
(4) 国際交流基金との関わり



(5) 関わっている教育段階

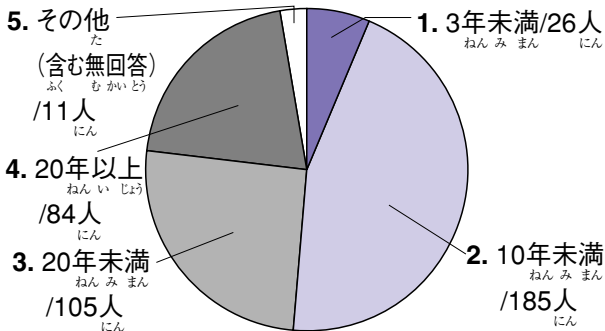


(6) 日本語教育歴



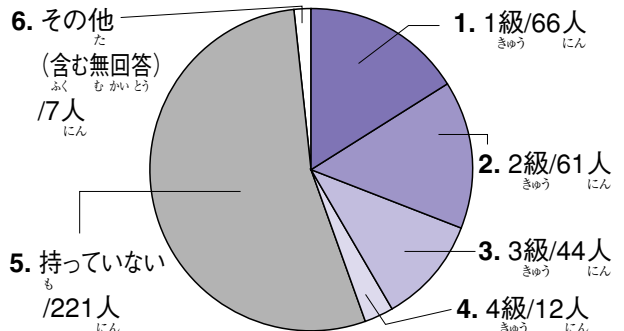
(7) 日本語学習歴

(日本語非母語話者411人のみの数字)



(8) 日本語能力試験

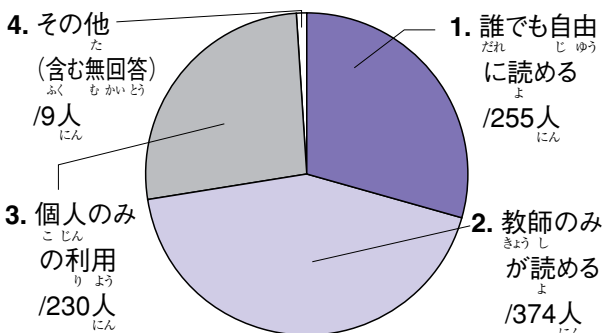
(日本語非母語話者411人のみの数字)



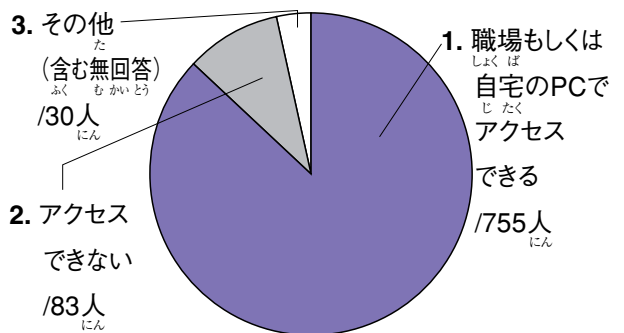
2. 『日本語教育通信』の利用環境について

インターネット環境が整った国からの回答が多かったせいか、職場あるいは自宅いずれかのパソコンからインターネットにアクセスできるとした回答が8割を超えました。なお、複数項目にチェックをした回答については、小さい方の数の番号にカウントしてあります(例:1と3の項目両方にチェックしてあった回答には、1の回答としてカウント)

(1) 紙媒体の『日本語教育通信』の利用状況



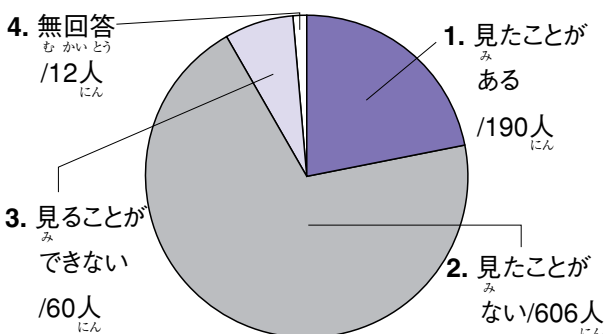
(2) インターネットの利用環境



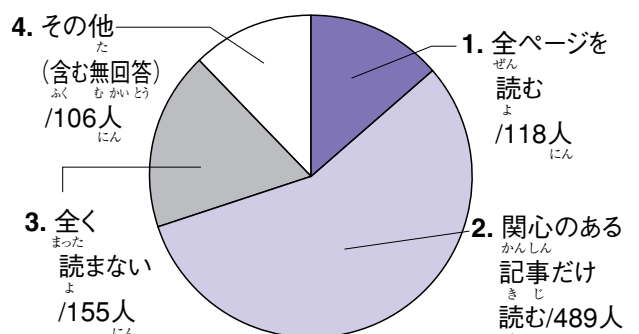
3. PDF版『日本語教育通信』の利用について

インターネットにアクセスできるものの、「パソコンの前に座る時間がない」というコメントをくださった方が、初等・中等教育の先生を中心にかなりいらっしゃいました。

(1) 『日本語教育通信』をPDFで

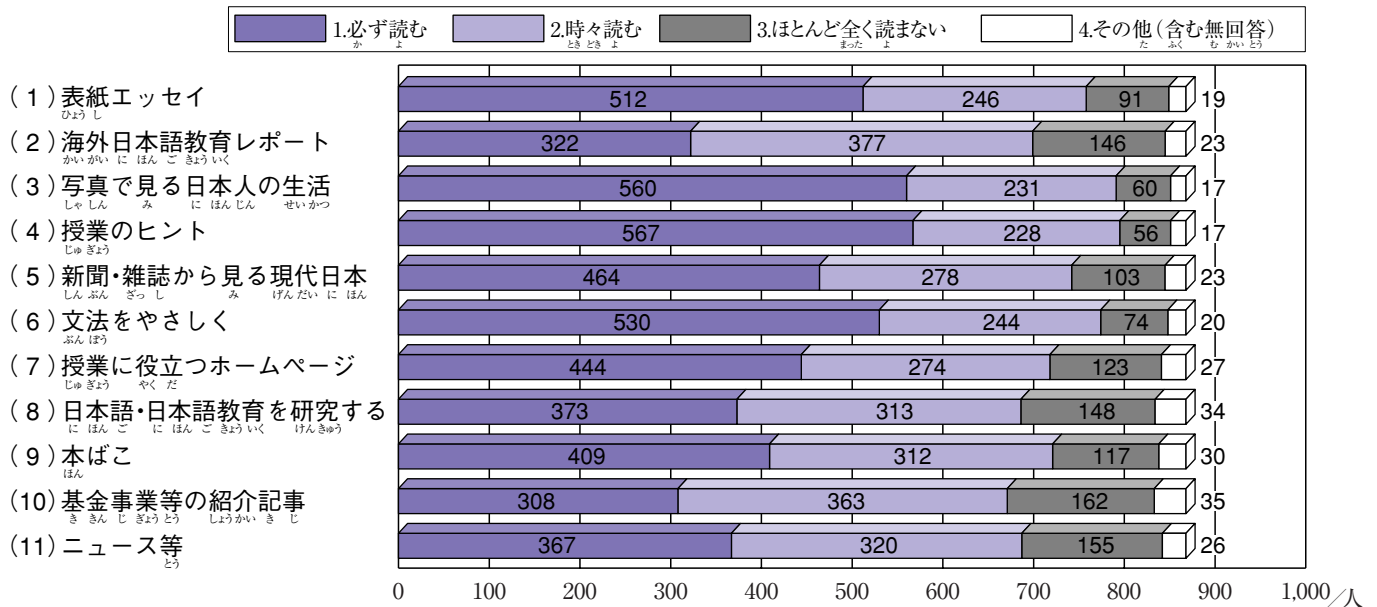


(2) 『日本語教育通信』がウェブ上のみでの配信となった場合



4. 現在の記事について

全体として、熱心に読んでいる読者がアンケートに回答してくださったようです。「必ず読む」で、最も数が多かったのは、「(4) 授業のヒント」でした。母語話者と非母語話者の別での数値は、ここには掲載していませんが、非母語話者に最も読まれていたのは、「(3) 写真で見る日本人の生活」で、次いで「(4) 授業のヒント」、「(6) 文法をやさしく」でした。「(8) 日本語・日本語教育を研究する」と「(10) 基金事業等の紹介記事」については、アンケートを実施した第45号では休載だったことが、回答に多少影響したかもしれません。なお、各記事に対していただいた貴重なコメントは、今後の記事作成には是非役立てていきたいと考えております。



5. 今後の発行形態について

アンケートの一番最後にあったコメント記入欄へ本当に様々なご意見をいただきました。同種のご意見として最も多かったのが、やはり「紙媒体での発行を継続してほしい」というものでした(77件ありました)。この中には、紙媒体であることのメリット(移動中でも読める、パソコンを立ち上げる時間の節約等)や、紙媒体で発行し続けるための提案(希望者だけに配布する、個人への配布をやめる等)など、様々なものが含まれています。今後の発行形態や送付先をどうするかについては、これらのご意見を踏まえた上で、検討の最中です。熱心に読んでくださっている読者が不利益をこうむることがないように、慎重に進めていきたいと考えています。読者の皆様には、今後とも、率直なご意見やご指導を、どうぞよろしくお願いいたします。

NEWS

国際交流基金は、来る10月1日より「独立行政法人 国際交流基金」となります。詳細は、

http://www.jpf.go.jp/j/about_j/organization/corporation.html

をご覧ください。

独立行政法人化は、国の行政改革によるものですが、今後も国際交流基金の理念と理想は不変であり、各種事業は、31年の積重ねを糧に

改善が加えられながら、世界と日本との相互理解増進のために継続的に実施されていく予定です。

『日本語教育通信』 第47号

2003年9月発行

編集・発行 国際交流基金
日本語国際センター 情報交流課
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和
5-6-36

The Japan Foundation
Japanese-Language Institute, Urawa
(6-36 Kita-Urawa 5 Chome, Urawa-ku,
Saitama-shi, Saitama 330-0074, Japan)
TEL. 048-834-1184 FAX. 048-830-1588
E-Mail jfnct@jpf.go.jp

編集協力
財団法人 国際文化交流推進協会
Japan Association for Cultural Exchange
(ACE Japan)

(表紙イラスト：村井宗二) 古紙100%再生紙使用